

e blog cms

管理者マニュアル

for Ver.2.11 2020.08.31

a-blog cms 管理者マニュアル

1. はじめに

このマニュアルの内容について	6
----------------	---

2. 基本編

 ログイン	7
ログインするには？	7
「ユーザーIDまたはパスワードが違います。」と表示されたら？	7
パスワードを忘れてしまったら？	8
2段階認証を設定する	9
ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」	12
 管理ページと各管理機能へのアクセス	13
a-blog cmsの管理ページとは？	13
ダッシュボードとは？	13
各種機能へのアクセス	14
a-blog cmsのブログ構造と管理ページ	14
 ダッシュボードで管理できる内容	15
よく使う機能へのショートカット	15
バージョンの確認	15
キャッシュファイルの管理	15
メンテナンスモード	17
 エントリーの管理	18
エントリー管理でできること	18
一覧からのエントリー管理	18
エントリー一覧画面での管理	18

個別エントリーに対する編集・複製・削除処理	19
複数のエントリーを一括して処理	19
エントリー表示順の変更	19
エントリーのまとめて操作	20
◆ ゴミ箱について	23
エントリーの削除の実態	23
完全削除	23
◆ カテゴリーの管理	24
一覧からのカテゴリー管理	24
カテゴリー一覧画面での管理	24
個別カテゴリーに対する編集処理（公開/ 非公開や名称などの変更）	24
複数のカテゴリーを一括して処理	24
カテゴリーの削除	25
カテゴリーの管理についての注意	25
◆ タグの管理	26
一覧からのタグ管理	26
タグの管理（名称の変更、タグの削除）	26
タグの追加	26
◆ ブログの管理	27
a-blog cmsのブログ構造	27
ブログ情報の編集	27
子ブログの管理	27
ブログの管理についての注意	28
◆ ユーザーの管理	29
ユーザーの作成	29
ユーザーの作成についての制限	29

ユーザーの権限について	30
所属ブログとユーザーの権限について	30
ログインパスワードを変更・再設定する	30
◆ フォームの管理	32
フォームIDについて	32
フォームIDの一覧でできること	32
フォームごとの宛先とテンプレートの指定	32
投稿されたデータの確認	33
投稿されたデータの削除	33
投稿されたデータのダウンロード	33
◆ スケジュールの管理	34
スケジュールセットとは	34
登録データの確認と編集	34
ラベルの設定	35
◆ バックアップと復元	36
バックアップと復元について	36
a-blog cmsのバックアップに必要なデータ	36
エクスポート・インポート時の注意事項	36
データベースをバックアップする	36
アーカイブディレクトリをバックアップする	37
バックアップデータからリストア（復元）する	38
◆ アクセス制限について	39
ブログ単位のアクセス制限	39
3. 応用編	
◆ さまざまなユニット	40
ユニットの追加	40

Yahoo!地図	40
Google マップ	41
ストリートビュー	41
ビデオ	41
画像URL	42
引用	44
入力欄	44
表示例	44
メディア	44
カスタム	44
リッチエディター	46
◆ メールマガジン機能	47
a-blog cmsのメールマガジン機能とは	47
配信先について	47
メールマガジンのメールの設定	48
テンプレートの準備	49
配信までの流れ	49
◆ メディア管理	51
メディア管理とは	51
メディアファイルのアップロード	51
メディアファイルで扱えるファイル形式	52
エントリー内でメディアファイルを使用する準備	53
エントリー内でメディアファイルを使用する	54
◆ バージョン管理	55
a-blog cms のバージョン管理機能とは	55
エントリーの作成	55
バージョンの確認と管理	57

バージョン管理パネルの役割	57
◆ SNSログイン機能	60
SNSログインとは	60
Facebook 側の設定	60
Twitter 側の設定	62
Google側の設定	63
LINE側の設定	66
a-blog cms の管理画面	
68	
LINEのチャネルページにある LINE ID とLINE secret	
69	
Callback URLを登録する	
69	
LINEログインを使用したいユーザーを認証する	
70	
実際にLINEログインを使用する	
70	
a-blog cms 側の設定	71
ログインするには	73
◆ カート機能	74
カート機能	74
主な機能	74
ご利用の前に	74
Ver. 1.x との違い	75
◆ レイアウト機能	76
レイアウト、モジュールの追加・配置・変更	78

1. はじめに

この文書は、a-blog cmsを使用してサイトを管理する方のためのマニュアルです。

説明に使用している機能や画面は、a-blog cms Ver. 2.5と、同梱されている公式テーマ（Site2020・Blog2020）を使用しています。

公式テーマ以外のカスタマイズされたテーマを利用されている場合や、カスタマイズされたa-blog cmsをご利用の場合には、説明や画面が一致しない場合があります。ご了承ください。

このマニュアルの内容について

このマニュアルでは、基本的にa-blog cmsのユーザーの権限「管理者」が操作できる内容の中でも、特にサイト運営に関わる内容について記述しています。

管理者ユーザーはa-blog cmsのブログ構造をはじめとした全ての内容に対して追加、変更、削除の権限がありますが、操作する内容によっては、公開しているサイトの構造や表示を大きく変えてしまう場合があります。

a-blog cms全体に大きな影響を与える内容については個別に注意書きを添えています。これらの操作につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

2. 基本編

✖️ ログイン

ログインするには？

a-blog cmsを管理するためには、a-blog cmsへのログインが必要です。

ログインする場所は、以下になります。

- ▶ <http://a-blog cmsの設置場所/login/>

ユーザーID/メールアドレス、パスワードの各欄に、管理者が発行した情報を入力し、[ログイン]ボタンでログイン完了です。

The screenshot shows the login interface for the a-blog cms system. It includes a logo, a navigation bar with 'a-blog cms' and 'ログイン' buttons, and a form for entering user ID or email address and password. A large blue 'ログイン' button is prominent, and a forgot password link is at the bottom right.

「ユーザーIDまたはパスワードが違います。」と表示されたら？

[ログイン]ボタンをクリックした時にユーザーIDまたはパスワードが違います。と表示された場合は、以下のような問題が考えられます。

- メールアドレス、パスワードに全角が混ざっていないか？
ログイン情報は半角英数字で入力する必要があります。
例) 全角=A B C D E 半角=ABCDE
- スペースが入っていないか？
特に情報をコピー&ペースト（貼付け）した際に起こりやすい問題です

パスワードを忘れてしまったら？

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを再発行しましょう。

登録してあるメールアドレスを入力すると、パスワードを変更するためのリンクと新しいパスワードがメールで送られます。メールの内容に従って新しいパスワードでログインしてください。

一般ユーザーがパスワードを忘れてしまった場合にも同じ方法でパスワードを再送できますが、登録メールアドレスを忘れてしまった場合には、管理者がパスワードを再設定することで復旧できます。

2段階認証を設定する

2段階認証を設定すると、ログインページでユーザーIDとパスワードの入力だけではなく、スマホアプリからの認証も必須になります。ログインを2段階にすることで、本人以外による不正ログインを防ぎます。

2段階認証の設定は、管理画面>コンフィグ>ログイン設定の順にページを移動し、「2段階認証」の項目を有効にします。



セキュリティ

ログインクッキー有効時間	864000	秒
アカウントロック	5	分の間に 5 回パスワードが間違った場合、アカウントをロックする
アカウントロック時間	5	分間ロック
パスワード変更の有効時間	15	分間
2段階認証	<input checked="" type="checkbox"/>	設定できるようにする

名前

ユーザーID

アイコン画像

メールアドレス

URL

パスワード

2段階認証

ユーザー一覧のページに移動し、二段階認証を有効にしたいユーザーを選び「変更」ボタンをクリックします。

認証の設定画面へ移動します。認証コード生成用のアプリにシークレットキーを設定します。Androidをお使いの場合は、Google Authenticator for Android、iOSをお使いの方はGoogle Authenticator for iOSのアプリをインストールしてください。

インストールしたアプリで、管理画面内に表示されているQRコードを読み取るか、手動でシークレットキーを設定してください。



アプリ内に表示された数字を管理画面に入力します。



Google Authenticator for iOSに表示された数字→



「認証」ボタンをクリックして認証します。

リカバリーコード

成功すると、リカバリーコードが表示されます。このリカバ
リーコードは一度しか表示されないため、どこかにメモをし
てください。

リカバリーコードはログインボタン以降にあるリンクより利
用できます。



ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」

アカウントロック機能では、パスワード入力の施行回数を制限できます。管理画面>コンフィグ>ログイン設定から設定できます。

セキュリティ

The screenshot shows the 'Security' configuration page with the following settings:

- ログインクッキー有効時間: 864000 秒
- アカウントロック: 5 分の間に 5 回パスワードが間違った場合、アカウントをロックする
- アカウントロック時間: 5 分間ロックする
- パスワード変更の有効時間: 15 分間
- 2段階認証: 設定できるようにする

The second and third items under 'アカウントロック' are highlighted with a red box.

アカウントロック機能は、ブルートフォースアタックからサイトを守るための機能です。ブルートフォースアタックというのは、パスワードを特定するために、使用できる文字の全ての組み合わせを試行し、不正ログインを試みる攻撃のことです。

アカウントロック機能ではロックする条件と、ロックする時間が設定可能です。

♣ 管理ページと各管理機能へのアクセス

a-blog cmsの管理ページとは？

a-blog cmsの管理ページは、エントリーの追加や変更とは別に、様々な管理機能をまとめた管理ページとして存在します。

ダッシュボードとは？

The screenshot shows the a-blog cms dashboard with the following sections:

- Links**: A list of links including Google Analytics and Google Search Console.
- Cache Management**: Shows 0 errors, 0 files, and 15 simultaneous cache generation counts.
- Shortcuts**: A list of site-wide shortcuts including Main Image, Global Navigation Items, Side Banner, and Side Link Collection.
- Licenses & Versions**: Shows the system version as 2.8.7 / Standard, a formal license, and 1/5 user logins.
- Login History**: Shows the last login at 2018-04-03 16:35:13 by user appleple / 管理者.
- Login Permissions**: A table for setting login permissions for devices, with "拒否端末" (Rejected Device) selected.

a-blog cms の管理ページに移動すると、最初にダッシュボードと呼ばれるページが表示されます。このはライセンスやバージョンの情報、ユーザーのログイン履歴や下書きとなっているエントリーなど、サイトの基本情報が掲載されています。

各種機能へのアクセス

管理ページで必要になる各種機能へのアクセスは、画面左側のサブカラムに集約されています。

サイト管理者として必要になるのは、主にエントリーの管理やユーザーの管理となります。これら必要な項目については後述します。

a-blog cmsのブログ構造と管理ページ

a-blog cmsでは、**ブログ**という単位でコンテンツを管理しています。例外的に子ブログへ設定を引き継ぐものもありますが、ユーザーを含む様々な設定は基本的にはブログ単位で行われます。管理ページはブログごとに存在しますので、管理したいブログから管理ページに移動するか、管理ページ内左上のブログナビゲーションから管理するブログを選択してください。

♣ ダッシュボードで管理できる内容

よく使う機能へのショートカット

a-blog cms管理ページでは、コンフィグの各種設定ページについて、トップページにショートカット（リンク）を設定できます。よく使う機能は、わかりやすい説明をつけてショートカット化しておくと使いやすくなります。ショートカットが作成できるページは、画面左上に「ショートカットに追加」というボタンがあります。

ダッシュボード

リンク集

-  [Google アナリティクス](#)
-  [Google Search Console](#)

ショートカット

-  [トップページのメイン画像](#)
-  [グローバルナビゲーションの項目](#)
-  [サイドエリアのバナー](#)
-  [サイドエリアのリンク集](#)

バージョンの確認

ダッシュボードには、現在ご利用中のa-blog cmsの情報が表示されています。
ライセンス・バージョン情報として、ライセンス種別やa-blog cmsのバージョン、追加しているオプションの情報はこちらでご確認ください。
ユーザーーフォーラムやメールサポートでの質問の際にこれらの情報があると、解決の手がかりになります。

ライセンス・バージョン情報

項目	状態
システムバージョン	2.8.7 / Standard
ライセンス	正式ライセンス
ユーザーの上限	1 / 5
メールマガジン プラグイン	利用可能

キャッシュファイルの管理

キャッシュファイル管理では、a-blog cmsが生成・利用しているキャッシュについての情報が表示されています。
ここでは、このブログ（またはチェックをつけることによって子ブログ）のキャッシュをリフレッシュできます。チェックをつけることで完全削除もできます。
期限切れのデータには、同時に多数のアクセスがあった場合などのイレギュラーなケースで表示される役割があるため、期限切れと同時に削除はされません。保持されている期限切れキャッシュデータは一定期間で削除されますが、上記のような表示を望まない場合には管理ページ上から削除できます。

キャッシュファイル管理

項目	状態
キャッシュ生成の状態	無効
全体の件数	0
全体の総サイズ	0バイト
最大同時キャッシュ生成数	15

子ブログのキャッシュも含める 完全消去

[リフレッシュ](#)

キャッシュファイルの有効期限

キャッシュは以下の条件で有効期限切れとなります。

- 指定した有効期限が切れた時
- 管理画面上でキャッシュをクリアした時
- 該当するエントリーが更新された時

また、管理ページ>コンフィグ>機能設定 より、キャッシュの有効期限、子ブログが更新されたときにもキャッシュをリフレッシュするなどの設定ができます。

メンテナンスモード

メンテナンスモードとは、ダッシュボードの画面からウェブサイトの表示をメンテナンス用テンプレートに切り替える仕組みです。メンテナンス用テンプレートは事前に用意しておく必要があります。

メンテナンス表示用の画面は管理者以外に適用され、管理者には通常通りのウェブサイトが表示されます。

メンテナンスモード		
管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。		
状態	出力ページのHTTPステータス	設定
-	503 (サービス利用不可) ページ	メンテナンスを開始

メンテナンスモードに切り替えるためには「メンテナンス開始」ボタンをクリックし、終了時には「メンテナンス終了」ボタンをクリックします。

メンテナンスモード		
管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。		
状態	出力ページのHTTPステータス	設定
メンテナンス中	503 (サービス利用不可) ページ	メンテナンスを終了

「メンテナンス開始」ボタンをクリックした後の表示↑

出力ページのHTTPステータスに関しては、メンテナンスページを利用する用途に応じて使い分けます。

出力ページのHTTPステータス	使用するケース
503 (サービス利用不可ページ)	工事中の表示など、Googleなどのロボットにインデックスされたくないときに使用する
200 (正常ページ)	ティザーサイトなどGoogleなどのロボットにインデックスされてもいい正常なページを表示したいときに使用する

♣ エントリーの管理

エントリー管理でできること

a-blog cmsでは、通常は投稿者以上の権限を持つユーザーが、自分が所属するブログに対してエントリーを作成・編集していきます。

管理者としてのエントリー管理は、エントリーの詳細ページでは出来ない、複数エントリーに対する一括処理やエントリーが所属するブログ、エントリーのオーナーとなるユーザーの変更などが主な役割となります。

一覧からのエントリー管理

エントリーの作成は、投稿者以上の権限を持つユーザーがそれぞれ行いますが、ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー[エントリー]から、エントリーの一覧画面へ移動します。

エントリー一覧画面での管理

この画面では、そのブログに登録されているエントリーが一覧で表示されています。

ここではエントリー全体の情報をみることもできますし、絞り込み機能によって、エントリーの情報（ブログ、カテゴリー、ユーザー、公開情報など）で任意で絞り込んで一覧を表示することもできます。

このページでの役割は大きく2つで、1つは「個別エントリーに対する編集・複製・削除処理」で、2つ目は「複数のエントリーを一括して処理」です。

ID	Status	Title	Date	Category	Author	Action
21	公開	プライバシーポリシー	2013/3/20 17:39	a-blog cms	お問い合わせ	Edit
20	公開	ホームページをリニューアルしました	2013/3/20 13:41	a-blog cms	お知らせ	Edit
19	公開	会社概要	2013/2/25 18:40	a-blog cms	会社概要	Edit
18	公開	沿革	2013/2/25 18:40	a-blog cms	会社概要	Edit
17	公開	物件情報3	2013/2/23 12:25	a-blog cms	物件情報	Edit
16	公開	物件情報2	2013/2/23 12:25	a-blog cms	物件情報	Edit
15	公開	物件情報1	2013/2/23 12:24	a-blog cms	物件情報	Edit
14	公開	交通アクセス	2013/2/13 19:46	a-blog cms	会社概要	Edit
13	公開	宮城県	2013/2/13 19:14	a-blog cms	採用情報	Edit
9	公開	業務用製品B	2013/2/13 16:50	a-blog cms	業務用製品	Edit

個別エントリーに対する編集・複製・削除処理

エントリー個別に対しての編集や複製、削除は、各エントリーの右端にあるプルダウンからできます。編集画面は、一般ユーザーがエントリーを編集する方法と同様のものとなります。



複数のエントリーを一括して処理

このエントリーの一覧では、複数のエントリーに対して、一括して以下の処理ができます。

- 表示順の変更
- ステータスの変更
- エントリーの持ち主となるユーザーの変更
- エントリーが所属するカテゴリーの変更
- エントリーが所属するブログの変更
- 複数のエントリーの複製
- 複数のエントリーの削除

変更		
eid	ステータス	タイトル / ニュース
21	公開	プライバシー
20	公開	ホームページ

これらの処理を行いたいエントリーの一覧表示の左側のチェックをして、一覧左上の選択肢から処理を選ぶことで、チェック済みのエントリーに対して一括で処理が行われます。

エントリー表示順の変更

エントリーの一覧表示などで、表示順を変更したい場合があります。表示順については、各モジュールIDの設定に依存するため、カスタマイズ担当者にご確認いただく必要があります。
日付順であれば個別エントリーの日付部分で、表示順であれば管理ページのエントリーの一覧でそれぞれ変更できます。

エントリーのまとめて操作

エントリーのまとめて操作では、エントリーが持っている情報を一括変更できます。

まとめて操作で変更可能な項目

- ステータス
- カテゴリー
- サブカテゴリー
- タグ
- 日時
- 公開日時
- 掲載期限
- インデキシング
- リンク先URL
- ユーザー
- キーワード
- 検索エンジン
- サイトマップ
- RSS
- カスタムフィールド の値（※カスタマイズした場合のみ）

使い方

管理画面>エントリーの順にページを移動し、「まとめて操作」のボタンをクリックして行えます。

エントリー管理

The screenshot shows a search bar with several input fields and buttons. From left to right, the fields are: '検索条件' (Search Conditions), 'カテゴリー' (Category) with a dropdown menu showing '全てのカテゴリー' (All Categories), 'キーワード' (Keyword), and a large input field for 'タイトル・本文・カスタムフィールドから検索 (複数指定可)' (Search by Title, Body, Custom Field (Multiple Selection)). Below the search bar are two buttons: '検索' (Search) on the left and 'まとめて操作' (Aggregate Operation) on the right, which is highlighted with a thick red border. On the far right of the bar is a small icon followed by the text '詳細検索' (Advanced Search).

変更したいエントリーにチェックをつけて、「**選択したエントリーを操作**」をクリックします。

該当のエントリーが見つけづらい場合は、検索フィルターを使用します。

一括変更

手順 1/3: 操作エントリーの選択

検索条件 カテゴリー 物件情報 (30) キーワード タイトル・本文・カスタムフィールドから検索 (複数指定可)

検索 詳細検索

選択したエントリーを操作

ID	ステータス	タイトル / コード	日時	ブログ / カテゴリー	ユーザー
1002	公開	物件情報28 entry-1002.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
992	公開	物件情報18 entry-992.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
990	公開	物件情報16 entry-990.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
984	公開	物件情報10 entry-984.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
980	公開	物件情報7 entry-980.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
998	公開	物件情報24 entry-998.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
985	公開	物件情報11 entry-985.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者

入力項目設定

手順 2/3: 操作の選択の画面まで進んだら、変更したい変更項目にチェックをつけ、変更値を入力します。（カスタマイズされている場合は、カスタムフィールド の内容も変更可能です）

一括変更

手順 2/3: 操作の選択

戻る 最終確認画面へ

① 変更項目 ② 変更値

<input checked="" type="checkbox"/> ステータスの変更	公開
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリーの変更	お知らせ (4)
<input type="checkbox"/> サブカテゴリーの変更	サブカテゴリーを選択します。 (キーワードを入れて絞り込み)
<input type="checkbox"/> タグの変更	タグを選択もしくは、新しいタグを入力します。 (キーワードを入れて絞り込み)
<input checked="" type="checkbox"/> 日時の変更	2019-12-24
<input type="checkbox"/> 公開日時の変更	
<input type="checkbox"/> 披露期限の変更	
<input type="checkbox"/> インデキシングの変更	<input type="checkbox"/> 一覧に表示する
<input type="checkbox"/> リンクURLの変更	
<input type="checkbox"/> 所有者の変更	管理者
<input type="checkbox"/> キーワード	
<input type="checkbox"/> 検索エンジン	<input type="checkbox"/> 検索エンジンに表示しない
<input type="checkbox"/> サイトマップ	<input type="checkbox"/> サイトマップに表示しない
<input type="checkbox"/> RSS	<input type="checkbox"/> RSSに表示しない

手順 3/3: 最終確認・実行の画面まで進んだら、変換内容を確認して問題がなければ「**一括変更を実行**」をクリックします。

一括変更

手順 3/3: 最終確認・実行

[戻る](#) [一括変更を実行](#)

変換内容

操作	設定値
ステータスの変更	open
カテゴリーの変更	お知らせ
日時の変更	2019-12-24 10:48:53

対象エントリー

eid	ステータス	タイトル	コード	日時	カテゴリー	ユーザー
980	公開	物件情報7	entry-980.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
984	公開	物件情報10	entry-984.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
992	公開	物件情報18	entry-992.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
998	公開	物件情報24	entry-998.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
1002	公開	物件情報28	entry-1002.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者

✖ ゴミ箱について

エントリーの削除の実態

a-blog cmsでは、エントリーの編集ページや管理ページのエントリー一覧からエントリーの削除を行います。

しかし、この時点では完全に削除しておらず、管理ページの「ゴミ箱」へ移動した状態となります。

ゴミ箱内のエントリーは、公開サイト上では存在しないものとなり、ログイン状態でも非公開として表示されるということはありません。このゴミ箱画面でのみ確認・操作できます。

		表示順	eid	タイトル / コード / 日時 / ブログ / カテゴリー	ユーザー
<input type="checkbox"/>	26	26	動的フォームのテスト	entry-26.html 2018/4/03 17:26 a-blog cms お問い合わせ	appleple [復元]
<input type="checkbox"/>	25	25	お知らせテスト	entry-25.html 2018/4/03 17:25 a-blog cms お知らせ	appleple [復元]
<input type="checkbox"/>	23	23	test	entry-23.html 2018/4/03 17:24 a-blog cms	appleple [復元]

完全削除

削除=ゴミ箱に入ったエントリーのデータを完全に削除してしまう場合には、リストから削除したいエントリーを選択して、画面左上のメニューから完全削除を選択して削除します。
この操作を行った場合、a-blog cmsではエントリーを復元することはできません。

		表示順	eid	タイトル / コード / 日時 / ブログ / カテゴリー
<input checked="" type="checkbox"/>	26	26	動的フォームのテスト	entry-26.htm 2018/4/03 17:26 a-blog cms
<input checked="" type="checkbox"/>	25	25	お知らせテスト	entry-25.html 2018/4/03 17:25 a-blog cms
<input type="checkbox"/>	23	23	test	entry-23.html 2018/4/03 17:24 a-blog cms

復元

ゴミ箱に入ったエントリーは、復元できます。
復元した場合はバージョン情報を保持した状態で、非公開で再度サイト上に表示されます。

♣ カテゴリーの管理

一覧からのカテゴリー管理

ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー【カテゴリー】から、カテゴリーの一覧画面へ移動します。

カテゴリー一覧画面での管理

この画面では、そのブログに登録されているカテゴリーが一覧で表示されています。

このページでの役割は大きく2つで、1つは「個別カテゴリーに対する編集処理」で、2つ目は「複数のカテゴリーを一括して処理」です。

カテゴリー管理						
ソート:		表示順 (昇順)	変更	新規カテゴリー作成		
	表示順	ステータス	カテゴリー名	cid / コード	エントリー数	グローバル アクション
≡	1	公開	お知らせ	2 news	4	- [変更]
≡	2	公開	製品情報	3 products	0	- [変更] [子カテゴリー]
≡	3	公開	会社概要	4 company	3	- [変更]
≡	4	公開	お問い合わせ	6 contact	1	- [変更]
≡	5	公開	採用情報	7 recruit	3	- [変更]
≡	6	公開	物件情報	8 realestate	3	- [変更]

個別カテゴリーに対する編集処理（公開/非公開や名称などの変更）

個別のカテゴリーに対しての編集は、各カテゴリーの右端にある「変更」ボタンからできます。

公開、非公開のステータス変更や、カテゴリー名やコードネーム、親カテゴリーなど、カテゴリーに関する各種情報を個別のカテゴリーに対して編集できます。

複数のカテゴリーを一括して処理

このカテゴリーの一覧では、複数のカテゴリーに対して、一括して以下の処理ができます。

- 表示順の変更

- カテゴリーの親子関係の変更
- ステータス（公開/非公開）の変更

これらの処理を行いたいエントリーの一覧表示の左側のチェックをして、一覧左上の選択肢から処理を選ぶことで、チェック済みのカテゴリーに対して一括で処理が行われます。

The screenshot shows a list of categories with checkboxes on the left. A context menu is open over the first category, with '表示順' (Display Order) selected. Other options like '親カテゴリーを変更' (Change Parent Category) and 'ステータス' (Status) are also visible. Below the menu, there's a '変更' (Change) button. The list contains three categories: 1 (公開, お知らせ), 2 (公開, 製品情報), and 3 (公開, 会社概要).

カテゴリーの削除

カテゴリーの削除は、カテゴリーの一覧からではなく、カテゴリーの詳細から行います。

カテゴリーの一覧で、削除したいカテゴリーの「編集」から詳細ページへ移動します。

詳細ページ上部の「削除」ボタンから個別のカテゴリーが削除できます。

The screenshot shows the 'Category Details' page. At the top, there are buttons for '一覧' (List), '保存' (Save), and '削除' (Delete). Below that, tabs for '基本設定' (Basic Settings) and 'カスタム設定' (Custom Settings) are shown. Under 'Basic Settings', there are fields for 'ID' (2), 'ステータス' (Status) with a checked '公開' (Public) checkbox, and 'カテゴリー名' (Category Name) with a dropdown menu showing 'お知らせ' (Information).

カテゴリーの管理についての注意

カテゴリーのコードネーム変更や追加・編集などはサイトの表示に大きく影響する場合があります。

カテゴリーの管理にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

♣ タグの管理

一覧からのタグ管理

ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー【タグ】から、タグの一覧画面へ移動します。

タグの管理（名称の変更、タグの削除）

タグ一覧では、そのブログに登録されているタグが一覧で表示されています。
このページでは一覧のみとなり、名称の変更やタグの削除はタグ名をクリックしたタグの詳細ページより行います。

タグの追加

タグの追加はエントリーの編集画面から行います。この管理ページからタグそのものを追加することはできません。

♣ ブログの管理

a-blog cmsのブログ構造

a-blog cmsでは、**ブログ**という単位でコンテンツを管理しています。管理画面左側のメニュー**[ブログ]**から、現在のブログの情報を確認できます。

ブログ管理の画面では、現在のブログのステータス（公開、非公開）や名前、ドメイン、コードネームなどが確認できます。

また、現在のブログに子ブログ（関連する下位ブログ）がある場合には子ブログがリストとして表示されます。

ブログ管理

保存 ★ ショートカットに追加 子ブログを作成

基本設定 カスタム設定 エクスポート・インポート

ID: 1
ステータス: 公開
名前: a-blog cms (日本語可)
ドメイン: localhost (英数字)
コードネーム:
インデキシング: リストに出す
テーマカラー: #FF0000 色を選択
サイトロゴ: ファイルを選択 選択されていません

ブログ情報の編集

ブログの管理画面では、a-blog cms標準の**基本情報**と、ブログのカスタムフィールドにあたる**カスタム情報**があります。

このうち、基本情報についてはブログ名やドメイン、コードネーム（URLとして使用される文字列）となりますので、運用中に変更することは基本的にありません。

使用するテーマやカスタマイズによって、カスタム情報には変更が必要な項目が追加される可能性があります。

ブログ管理

保存 基本設定 カスタム設定 エクスポート・インポート

サイト設定 基本

サイトロゴ: 削除 ファイ.

子ブログの管理

ブログ管理ページ下部の子ログリストでは、エントリーやカテゴリーと同様に現在のブログの情報を確認できます。

- 表示順の変更
- ステータス（公開/非公開）の変更

- ブログの親子関係の変更
- コンフィグの複製

ブログの管理についての注意

ブログの編集や子ブログの追加・編集はサイトの表示に大きく影響する場合があります。

ブログ全体の編集や子ブログの作成にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

♣ ユーザーの管理

ユーザーの作成

a-blog cmsでは、基本的に管理者がユーザーを作成します。設定で外部からメールアドレスを登録して発行する方法もありますが、ここでは管理ページからユーザーを作成について解説します。

ユーザーの作成は、ユーザー管理画面右上の「ユーザー作成」ボタンから行います。

ユーザー作成画面には入力欄が複数ありますが、特徴的なものについて以下に説明します。

The screenshot shows the 'User Management' creation form. The fields include:

- ステータス: 有効 (checked) 9999-12-31 (日本語可)
- 名前: (英数字)
- ユーザーID: (英数字)
- アイコン画像: ファイルを選択 (ファイル未選択)
- メールアドレス: (英字) メールマガジンを受け取る (HTML) (checked)
- メールアドレス (英字): メールマガジンを受け取る (テキスト) (checked)
- URL:
- 新しいパスワード:
- 新しいパスワード (確認):
- 権限: 直接権限 (dropdown menu)
- インデキシング: リストに表示 (checked)
- どこでもログイン: 他のブログからログイン (unchecked)

● アイコン画像

a-blog cmsの管理画面内でユーザーの識別のために使用されるアイコンです。アップロードした画像は64ピクセル四方になります。

● 権限

a-blog cmsでできることによって読者、投稿者、編集者、管理者の4段階の権限があります。権限についての詳細は後述します。

● どこでもログイン

a-blog cmsでは、標準機能ではユーザーが所属しているブログでしかログインができません。このチェックをすることで、所属しているブログ以下の子ブログでもログインができるようになります。

ユーザーの作成についての制限

a-blog cmsでは、ライセンスによって作成できるユーザー数に制限があります。

ユーザー数の制限は、投稿者、編集者、管理者に適用され、**読者ユーザーはユーザー数制限に含まれません。**

許可されているユーザー数を越えると、読者以外の新規のユーザーが作成できなくなります。
ライセンスごとのユーザー数は、オプションとしてユーザー数の追加をご用意しています。

ユーザーの権限について

a-blog cmsのユーザーには4種類の権限があります。
利用の仕方に合わせて選択してください。
管理者、編集者、投稿者はユーザー数の制限に含まれますが、**読者ユーザーはユーザー数に含まれません。**

管理者	サイトの管理者として、すべての設定ができます。
編集者	新規エントリー作成・編集／投稿管理（エントリー・カテゴリー・タグ・コメント・ トラックバック）／サイト管理（ユーザーのプロフィールのみ）／Ping送信ができます。
投稿者	新規エントリー作成・自分が作成したエントリーの編集／投稿管理（エントリー）／サイト管理（ユーザーのプロフィールのみ）／Ping送信ができます。
読者	所属するブログへのログインと、自身のプロフィール変更のみができます。

所属ブログとユーザーの権限について

a-blog cmsではブログごとにユーザーを作成します。ユーザーの権限として、**自分が所属するブログまたは自分が所属するブログの下位ブログ（子ブログ）**ではエントリー作成などの管理行為ができますが、それ以外のブログではログインができず、管理をおこなうことはできません。

ログインパスワードを変更・再設定する

読者を含むa-blog cmsのユーザーは、自分自身でログインパスワードを変更できます。ログイン後、ユーザー管理ペー

ジから自身のアカウントから「変更」か、ログイン時のサイト上に表示されている管理ボックス（管理用ボタン等が表示されているスペース）内の「プロフィール」リンクから変更できます。

♣ フォームの管理

フォームIDについて

a-blog cmsのフォームは、フォームごとに**フォームID**というもので区別されています。このフォームIDによって、メールの宛先や送られるメールのテンプレートなどが個別に設定されています。

フォームIDは、サイトで使用するテンプレートファイル側への記述が必要になります。フォームIDの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

ここでは、運用中のフォームでの情報変更について解説します。

フォームIDの一覧でできること

管理画面左側のメニュー【フォーム】から、フォームIDの一覧画面へ移動します。この一覧では各フォームIDについて、情報を確認・編集できる「**変更**」と、そのフォームIDへ投稿されたデータの確認ができる「**投稿データ**」の2つのボタンがあります。

フォーム管理						
ソート:	作成順 (昇順)	表示数:	20	表示	フォームIDを作成	
フォームID	フォーム名	最新の投稿	投稿数	グローバル	アクション	
contactForm	お問い合わせフォーム	1000-01-01 00:00:00	0	-	<button>変更</button>	<button>投稿データ</button>
contact	お問い合わせ	1000-01-01 00:00:00	0	-	<button>変更</button>	<button>投稿データ</button>
seminar	セミナー	1000-01-01 00:00:00	0	-	<button>変更</button>	<button>投稿データ</button>
eventForm	イベントお問い合わせ	1000-01-01 00:00:00	0	-	<button>変更</button>	<button>投稿データ</button>
trialForm	体験教室申し込み	1000-01-01 00:00:00	0	-	<button>変更</button>	<button>投稿データ</button>

フォームごとの宛先とテンプレートの指定

フォームIDのリスト右側の「**変更**」ボタンから各種情報の変更画面に移動します。この画面では一般メール設定（フォームの入力者に送られるメール）と、管理者宛メール設定のそれぞれを設定できます。

- メールのタイトルにあたるテンプレートファイル
- メールの本文にあたるテンプレートファイル
- メールの宛先

- メールの差出人
- メールのCc (カーボンコピー)
- メールのBcc (ブラインドカーボンコピー)
- メールの返信先
- 文字コード
- フォームによるファイルの添付の可否

各項目の詳細につきましては、項目部分の「?」アイコンから表示される解説をご覧ください。

投稿されたデータの確認

フォームIDのリスト右側の「投稿データ」ボタンから
投稿データの一覧に移動します。

この画面ではこのフォームIDに送られたメールの内容
がリストとして表示されています。

宛先部分はお名前とメールアドレスが表示され、
クリックすることでメールが起動します。
件名／本文部分の「本文を表示」をクリックすると、
フォームの入力者へ送られたメールの本文が表示されます。



投稿数	グローバル	アクション
0	-	変更 投稿データ
0	-	変更 投稿データ
0	-	変更 投稿データ

投稿されたデータの削除

登録データの一覧画面では、「XX件の投稿データを削除」
のボタンから全ての投稿データが削除できます。データの一部を削除することはできません。また、ここで削除したデータは復元することができませんのでご注意ください。

投稿されたデータのダウンロード

登録データの一覧画面では、「XX件の投稿データをCSV形式で（文字コード）ダウンロード」のボタンから全ての投稿データがCSVファイルとしてダウンロードできます。任意の文字コードを選択してご利用ください。

♣ スケジュールの管理

スケジュールセットとは

ここではスケジュールモジュールで使用するデータ（スケジュールセット）の管理方法について解説します。

スケジュールセットとは、スケジュールモジュールで使用するデータとラベルの情報です。

スケジュールセットは、サイトで使用するテンプレートファイル側への記述が必要になります。スケジュールセットの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

スケジュールセットの確認や修正を行う場合は、管理画面左側のメニュー【スケジュール】から、スケジュールセットの一覧画面へ移動します。

登録データの確認と編集

スケジュールセットの一覧画面で登録データの「表示」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されている情報が表示されます。最初に当月の情報が表示されますので、必要に応じて確認・編集したい年月を編集できます。

必要な情報を追加・編集したら「保存」ボタンでスケジュールセットの一覧へ戻ります。

The screenshot shows the 'Schedule Management' interface. At the top, there's a header with a 'List' button, a search bar ('Search term'), and a 'Save' button. Below the header, a navigation bar includes links for 'Previous month (2018-03-01)', '2018 年 4 月' (selected), 'Edit', and 'Next month (2018-05-01)'. A 'Shortcuts' link is also present. The main area is titled '2018年 4月' and contains a table with six rows, one for each day from Monday to Saturday. Each row has a date label (e.g., '1 (日)'), a text input field, and a 'Setting' dropdown menu. The dropdown menu for each day includes an option 'Setting not set'.

ラベルの設定

スケジュールセットでは、登録データにラベルをつけることができます。ラベルを付けることによって、スケジュールでデータを表示するカレンダーにラベルと一緒に表示したり、ラベルと対になるclass名を使ってcssでの装飾ができます。

スケジュールセットの一覧画面でラベルの「設定」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されているラベル情報が表示されます。ラベルと、必要に応じてクラスを設定し、「保存」ボタンでスケジュールセットの一覧へ戻ります。

The screenshot shows the 'Schedule Label Settings' page. At the top, there is a breadcrumb navigation: 'a-blog cms > Schedule Management > Schedule Label Settings'. Below the header, there are three buttons: 'View' (gray), 'Save' (blue), and '★ Shortcut to Add' (gray). The main area contains a table with three rows. Each row has three columns: 'Display Order' (with dropdown menus showing values 1, 2, and 3), 'Label Name (Required)' (text input fields containing '臨時休業', 'ナイトー講習', and an empty field), and 'Class (Optional)' (text input fields containing 'closed' and 'night').

表示順	ラベル名(必須)	クラス(省略可)
1	臨時休業	closed
2	ナイトー講習	night
3		

♣ バックアップと復元

バックアップと復元について

a-blog cmsでは、標準機能としてa-blog cms全体のバックアップと復元ができます。管理画面左側のメニュー【**バックアップ**】から、バックアップと復元を行います。

a-blog cmsのバックアップに必要なデータ

a-blog cmsのバックアップに必要なデータは大きく3つあります。

- ユーザー、ブログ、エントリーなどの情報となる「データベース」
- エントリー等に添付する画像などのファイル「アーカイブ」
- サイトを表示するためのテンプレートファイル「テーマ」

バックアップと復元にはこれらのファイルが必要になります。

エクスポート・インポート時の注意事項

バックアップデータのファイル形式は**zip形式のみ**となります。zip形式のままインポートしますので、**展開（解凍）しないでください。**

エクスポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重に行ってください。

データベースをバックアップする

1. 管理画面左側のメニュー【**バックアップ**】のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。

2. 「バックアップ」タブのデータベースのバックアップにある「バックアップ」ボタンを押す。
3. zip形式でダウンロードされます。
※ダウンロードには時間がかかる場合があります。

もし失敗するようであれば、a-blog cms を設置しているサーバーの「archives」ディレクトリのパーミッションを「777」（一部環境では755）に設定して再度お試しください。

a-blog cms > バックアップ

バックアップ

注意事項

データベースをバックアップ

- CMS全体のデータベースとアーカイブのデータを置き換える際に利用します。
- リストア実行時にドメイン変更を自動的に行います。
- ユーザー情報などすべてのデータがリストアするデータに置きかわりますのでご注意ください。

バックアップ リストア

データベースのバックアップ

アクセスログとキャッシュ以外のテーブルをzip形式でダウンロードします。解凍はしないでください。

アーカイブのバックアップ

archives ディレクトリのデータをzip形式でダウンロードします。

バックアップ

アーカイブディレクトリをバックアップする

1. 管理画面左側のメニュー「[バックアップ]」のリンクをクリックすると、「[バックアップ管理]」の画面が表示されます。
2. 「バックアップ」タブのアーカイブにある「バックアップ」ボタンを押す。
3. zip形式でダウンロードされます。
※ダウンロードには時間がかかる場合があります。

a-blog cms > バックアップ

バックアップ

注意事項

アーカイブ(画像などのファイル)をバックアップ

- CMS全体のデータベースとアーカイブのデータを置き換える際に利用します。
- リストア実行時にドメイン変更を自動的に行います。
- ユーザー情報などすべてのデータがリストアするデータに置きかわりますのでご注意ください。

バックアップ リストア

データベースのバックアップ

アクセスログとキャッシュ以外のテーブルをzip形式でダウンロードします。解凍はしないでください。

アーカイブのバックアップ

archives ディレクトリのデータをzip形式でダウンロードします。

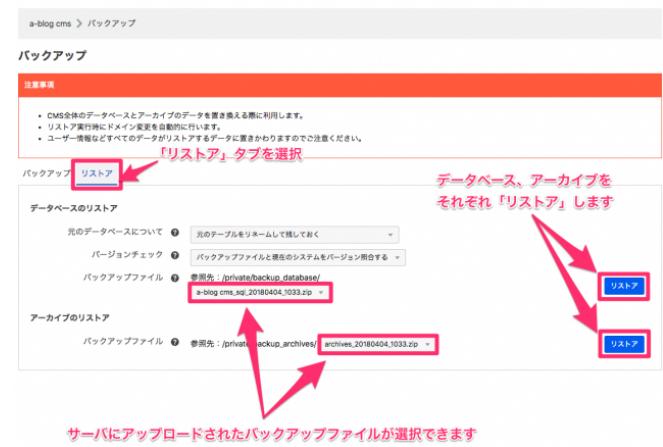
バックアップ

もし失敗するようであれば、a-blog cms を設置しているサーバーの「archives」ディレクトリのパーミッションを「777」（一部環境では755）に設定して再度お試しください。

バックアップデータからリストア（復元）する

1. a-blog cms でエクスポートしたzipファイルを用意します。用意したzipファイルを、データベースのバックアップファイルの場合には /private/backup/ 、アーカイブのバックアップの場合 /archives/backup/ にFTPソフトなどを使ってファイルをアップロードして下さい。
※backupディレクトリがない場合は作成してください。
2. インポート先にエクスポート元のテーマがない場合、エクスポート元のthemesディレクトリをインポート先のthemesディレクトリにコピーします。
もし、インポートされたデータで使用しているテーマがthemesディレクトリに無い場合にはインポート後「404エラー」となりますが、その後themesディレクトリをエクスポート元からコピーすることで動作します。
3. 管理画面左側のメニュー【バックアップ】のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。
4. リストアに関する機能は「リストア」タブにあります。元のデータベースについては「元のテーブルをリネームして残しておく」を選択することにより元のデータベースを名前を変えて残します。またバージョンチェックでは「バックアップファイルと現在のシステムをバージョン照合する」を選択することでバージョンチェックを行います。エクスポート元とインポート先が同じバージョンでないとインポートできなくなります。
5. リストアするデータとなるバックアップファイルを選択します。ここで選択できるファイルは手順1.で backup_databaseディレクトリ、backup_archives ディレクトリにアップロードしたファイルです。
6. それぞれの「リストア」ボタンを押すことによりリストアが実行されます。

インポート作業では、データを失う危険性があります。慎重に作業してください。



♣ アクセス制限について

ブログ単位のアクセス制限

ここではブログ単位でアクセスを制限する方法を解説します。

管理画面左側のメニュー【ブログ】から、ブログの管理画面へ移動します。

この画面のステータスから公開状態を変更します。ステータスには3つの選択肢があります。



- 公開：一般に公開されています
- 非公開：一般には 403 Forbidden となり表示されません（該当ブログ以上のユーザーがログインしている場合には表示されます）
- シークレット：非ログイン状態で表示すると、ログイン画面が表示されます

一般に公開したくない内容であれば「**非公開**」で、読者登録しているユーザーなど、一部の方に公開するのであれば「**シークレット**」としておくのがよいでしょう。

3. 応用編

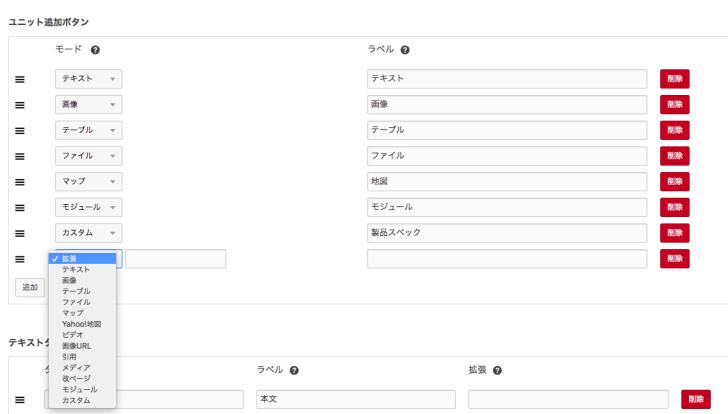
◆ さまざまなユニット

a-blog cms では、エントリーを登録・変更する時にユニットという単位でコンテンツを追加していきます。インストール直後の状態ではテキスト、画像、ファイル、マップの4つのユニットがあります。この4つのユニットで基本的なコンテンツは構成できますが、コンテンツ作成に便利な様々なユニットが用意されています。

ユニットの追加

ユニットの追加は**管理ページ>コンフィグ>編集設定** から設定できます。

ここでは、ユニットとして追加できる各ボタンの機能について解説します。



Yahoo!地図

標準である地図ユニットはGoogleマップですが、こちらはYahoo!地図を追加するためのユニットになります。

Googleマップとは違った表示形式（色、路線図、地下街など）を持っており、要望に応じて使い分けをすることができます。

Yahoo!地図を使うためには、事前にYahooアプリケーションIDを取得し、設定する必要があります。

この機能の利用は**管理ページ>コンフィグ>アドオン** から設定できます。

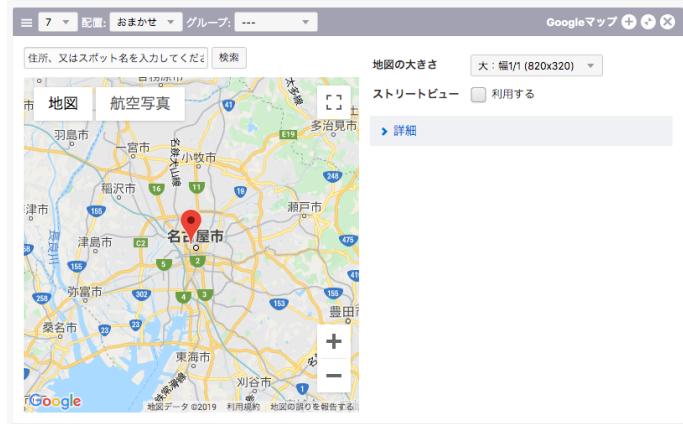


ロパーティ設定 から設定できます。

Google マップ

a-blog cms では Google マップを記事内に追加することができます。

Google マップを使うためには、事前に Google Maps API Key を取得し、設定する必要があります。この機能の利用は管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定から設定できます。



ストリートビュー

Google マップユニットでは、ストリートビューの表示に対応しています。通常の Google マップの画面で住所を指定した後、ストリートビューの項目にチェックしてください。



ビデオ



a-blog cms では、動画を表示するための機能として YouTube をはじめとした動画サイトの情報を利用できます。この場合は専用のユニット「ビデオ」を使用します。

Video IDの入力

表示する動画を指定するために、Video IDを入力します。このIDは、カスタマイズしていない状態のa-blog cmsであれば、YouTubeサイトのURLの末尾部分となります。以下の例の場合、IDは「XX12345」となります。

<http://www.youtube.com/watch?v=XX12345>

なお、YouTube以外の動画サイトに対応するためには、テンプレートのカスタマイズが必要です。サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

画像URL

Flickrなどの外部サービスに登録した画像を表示する

a-blog cmsにFlickrなどの外部サービスに登録した画像を表示したいという要望があります。

このような場合には、ユニットの「画像URL」を使用します。このユニットは、表示したい画像のURLを指定することで、a-blog cmsに画像をアップロードせず、指定されたサーバー内の画像を表示します。

標準画像
例) https://

拡大画像
例) https://

画像の大きさ
そのまま ▾

▶ 詳細

キャプション

リンク

代替テキスト

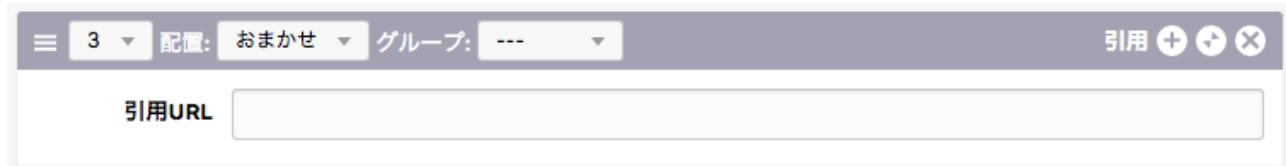


- 標準画像：「画像の大きさ」で指定した場合に表示する
画像のURL
- 拡大画像：画像をクリックした場合に表示する拡大画像
のURL
- キャプション：画像の下に表示される説明文です。
- リンク：画像をクリックした場合のリンク先を設定でき
ます。
- 代替テキスト：画像が表示できない場合に代替テキスト
として表示される文章です。
- 画像の大きさ：Site2020 テーマでは大中小の3サイズ
が設定されています。また、選択した画像のサイズを変
更しない場合は [そのまま] を選択します。
- メディアを挿入（メディア管理が有効の場合のみ表
示）：メディア管理で登録しておいたファイルを添付で
きます。

引用

引用ユニットは、テキストユニットの引用とは違い、外部のURLを入力する事で、そのURLの持つOGP情報を表示します。

入力欄



表示例

メディア

ブランドサイト | a-blog cms
a-blog cms
使いやすさで選ぶ国産CMSなら、a-blog cms。スマートフォンやタブレットにも対応可能。カスタマイズにphpの知識は必要ありません。無料ライセンスから承認機能が使えるエンタープライズ版ま...

a-blog cms では、エントリー内でよく使用する画像などのファイルをシステム側に保管しておくことで、何度も別のエントリーに使い回すことができるメディア管理機能があります。

メディアユニットは、別途登録するファイルを表示するユニットになります。

設定方法、ファイルの登録については別項[メディア管理](#)で詳しく解説しています。

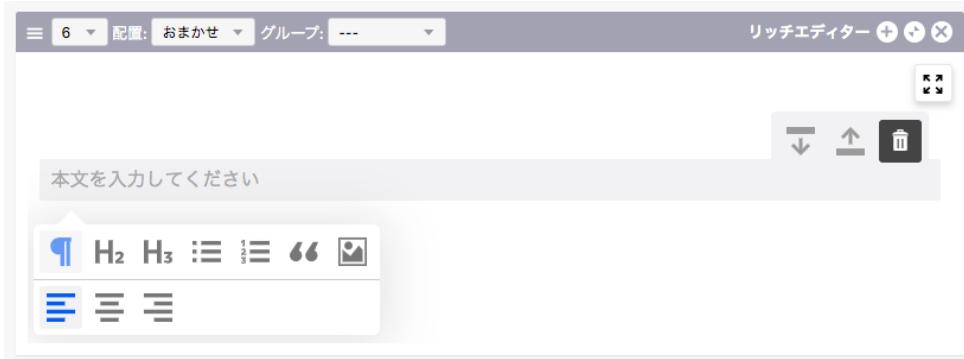
カスタム

カスタムユニットは、ユニットをカスタマイズし、カスタムフィールドをユニットで取り扱えるようになるものです。

このユニットを使用するためには、テンプレートのカスタマイズが必要です。サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

リッチエディター

リッチエディターはユニット内で使用できるテキストエディタの1つです。

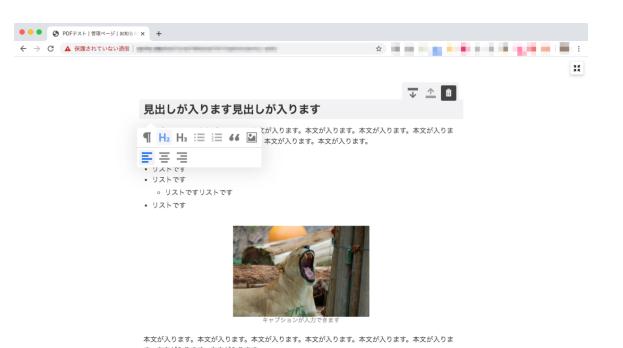


テキストユニットとは違い、ブロック内で複数の種類のテキストを入力できたり、テキストブロックの移動や画像の挿入が可能です。

テキストの種類はカスタマイズで拡張できます。拡張は制作者による作業が必要です。制作者にご相談の上ご利用ください。

テキストをドラッグすれば、マーカー、下線、打ち消し線、リンク挿入が可能です。

これらのインラインスタイルの種類はカスタマイズで拡張できます。拡張は制作者による作業が必要です。制作者にご相談の上ご利用ください。



♣ メールマガジン機能

a-blog cmsのメールマガジン機能とは

a-blog cmsでは、メールマガジン機能として、**登録済みのエントリーをa-blog cmsのユーザーにメールとして送信する機能**があります。

ブログのエントリーをHTMLメールのテンプレートを使って送ることで「自由なレイアウトを実現したり、効果的な画像を差し込める」「本文がブログのエントリーなので、メールマガジンのバックナンバー構築が容易」といったメリットが考えられます。

この機能の利用は[管理ページ>コンフィグ>機能設定](#)から設定できます。

The screenshot shows the '機能設定' (Function Settings) page. In the 'メールマガジン' (Email Magazine) section, the checkbox 'メールマガジンを発行する' (Publish Email Magazine) is checked, which is highlighted with a red box.

配信先について

この機能は、a-blog cmsのユーザーに対してメールを送信するものです。管理ページ>ユーザーで個別のユーザーの情報を登録・更新できますが、このユーザー情報のメールアドレス欄に「メールマガジンを受け取る」のチェックボックスがあります。ここでチェックのあるユーザーに対してメールが配信されます。

The screenshot shows the 'ユーザー' (User) settings page. The 'メールアドレス' (Email Address) field contains 'info@example.com' and the checkbox 'メールマガジンを受け取る (HTML)' is checked, both of which are highlighted with a red box.

初期値はチェックがされている状態ですが、機能設定のメールマガジン機能にチェックがされていなければ動作しません。

メールアドレスはPCと携帯の2つを登録できますが、PCとして登録したメールアドレスにはHTML形式のメールを、

携帯として登録したメールアドレスにはテキスト形式のメールを送信します。

メールマガジンのメールの設定

送信先の他に、メールマガジンの送信元や件名、本文のテンプレート等を設定します。

これらの内容は**管理ページ>コンフィグ>メール設定** から設定できます。

メール設定ページの「メールマガジン」の各欄の内容は以下の通りです。

- From
送信されるメールの差出人を指定します。
- To
送信されるメールの宛先を指定します。実際のユーザーへの宛先はbccとして送られますので、通常は送信者のメールアドレスと同じものを入力するとよいでしょう。
- 件名テンプレート
送信されるメールの件名になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 本文テンプレート（プレーンテキスト）
送信されるメールのテキスト形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 本文テンプレート（HTML）
送信されるメールのHTML形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 一斉同報件数
一通のメールでBccに指定する登録ユーザーのメールアドレスの最大数。この数字を大きくし過ぎるとプロバイダによってはスパムと判断されてしまう場合があります。

テンプレートの準備

メールマガジン用の標準テンプレートは `/themes/system/mail/entry/` に格納されています。
これらのテンプレートはあくまでベースとなるものですので、ご利用の際にはカスタマイズの必要があります。
送信内容と、対象となるメーラーに合わせて適宜変更してご利用ください。各テンプレート内ではa-blog cmsの変数を使用できます。

- `subject.txt`
メールマガジンの件名のテンプレートです。
- `body.txt`
テキスト形式で送信する場合の本文のテンプレートです。
- `body.html`
HTML形式で送信する場合の本文のテンプレートです。

配信までの流れ

メールマガジン機能はエントリーを送信するため、まずエントリーを作成する必要があります。
ログインした状態で作成したエントリーを詳細表示すると、画面上部の管理ボタン群にメールマガジン関連のボタンが表示されます。



テスト送信

上記の状態では「一斉送信」にチェックがされていません。この状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、テスト送信としてTo宛にメールマガジンの内容がテスト送信されます。
一般のユーザー（Bcc宛）には送信されません。

本送信

「一斉送信」にチェックをした状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、選択したブログのユーザーで、**メールマガジンを受け取るにチェックをしているユーザー宛**にメールマガジンの内容が送信されます。

♣ メディア管理

メディア管理とは

a-blog cms では、エントリー内でよく使用する画像などのファイルをシステム側に保管しておくことで、何度も別のエントリーに使い回すことができるメディア管理機能があります。

この機能の利用は**管理ページ>コンフィグ>機能設定**から設定できます。

機能設定

一覧
保存
インポート
エクスポート
★ ショートカットに追加

基本

キャッシュ 有効
 キャッシュ自動生成 有効
 キャッシュ有効時間 86400 秒
 キャッシュの感度 祖先ブログまたは子孫ブログが更新されたときにもキャッシュをリフレッシュする
 クライアントのキャッシュ有効時間 0 秒
 アクセスログ POSTのみ取得 保存期間 30日間
 RSS,Sitemap.xml 出力なし このブログをRSS, Sitemap.xmlに出力しない
 メールマガジン メールマガジンを発行する
 承認機能 承認機能を利用可能にする
 バージョン管理 バージョン管理を利用可能にする
 動的フォーム 動的フォームを利用可能にする
メディア管理 メディア管理を利用可能にする
 レイアウト表示 ブログ間でレイアウトを共有できるようにする
 オンラインアップデート パッチバージョンのみ マイナーバージョンも含める 更新メニューを非表示

メディアファイルのアップロード

メディアファイルのアップロードは、管理ページ>メディアから行います。

このページに移動すると、メディアファイルが既にアップロードされている場合は、アップロード済みファイルの一覧が表示されます。

画面右側の「メディアアップロード」ボタンからアップロードページへ移動します。

ここでお手元のPC内の画像ファイルを選択してアップロードします。



メディアアップロードをクリック



アップロードページ

その際、画像のサイズと、メディアファイルを管理するためのラベルが設定できます。ラベルはメディアファイルの一覧や、エントリーへ添付する時に見つけやすくするためのものです。ラベルはアップロード後に変更できませんのでご注意ください。

メディアファイルがアップロードできない場合は、a-blog cms 設置サーバーの /a-blog cms の 設置ディレクトリ /media/ に書き込み権限があるかを確認してください。不明な場合はサーバー管理者におたずねください。

メディアファイルで扱えるファイル形式

メディアファイルで扱えるファイル形式は、画像ファイルとして .jpg、.gif、.png と、**管理ページ>コンフィグ>編集設定>アップロード許可ファイル拡張子** のドキュメント欄に指定したファイルとなります。

エントリー内でメディアファイルを使用する準備

登録しておいたメディアファイルをエントリーの登録・編集で使用するにはテキスト、画像などと同様にユニットのボタン「メディア」を使います。ただし、メディアユニットは標準インストールをしたままの状態では使用できないので、管理画面から設定をする必要があります。

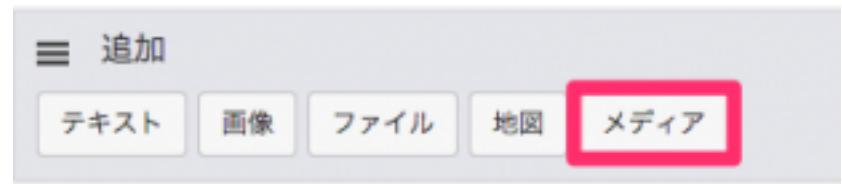
このユニットボタンの追加は[管理ページ>コンフィグ>編集設定](#)から設定できます。

編集設定ページ内の「ユニット追加ボタン」欄の追加ボタンから、新しいユニットボタンを追加して「メディア」を選択します。ラベルはわかりやすいもので構いません。

エントリー内でメディアファイルを使用する

エントリーの登録・編集画面では、登録しておいたメディアファイルを「メディアユニット」から呼び出して使うことができます。

メディアユニットの入力画面内の「メディアを挿入」リンクをクリックすると、管理画面で登録しておいたメディアの一覧が表示されます。



メディア一覧では、エントリーで使用したいファイルを選択し、挿入ボタン押すとエントリー作成画面に反映されます。また、メディア一覧の「アップロード」タブでは、メディアファイルの追加もできます。

選択	サムネイル	日付	名前	拡張子	ラベル
<input type="radio"/> この「7c2a61200347970c5201e670dd18aaf7」の画像を選択する	[Yellow thumbnail]	2017-03-13 11:25:16	7c2a61200347970c5201e670dd18aaf7	png	
<input type="radio"/> この「163c73b9ab586a43cae4b34df93cf48b」の画像を選択する	[Green thumbnail]	2016-12-07 18:01:25	163c73b9ab586a43cae4b34df93cf48b	png	
<input type="radio"/> この「86e1aede51e85f860f3194c94ab19286」の画像を選択する	[Blue thumbnail]	2016-12-07 18:01:25	86e1aede51e85f860f3194c94ab19286	png	
<input type="radio"/> この「934520bc68ab1dc2e3c6c4c742597639」の画像を選択する	[Orange thumbnail]	2016-12-07 18:01:25	934520bc68ab1dc2e3c6c4c742597639	png	

♣ バージョン管理

a-blog cms のバージョン管理機能とは

バージョン管理機能とは、a-blog cms上のエントリーの変更をする際、上書きとは別にその時その時の内容を保存して、必要な時に保存した内容に切り替えを行える仕組みになります。

エントリーの過去の変更履歴の保存や、同一urlで未来に表示したい内容を先行して作成しておく時に便利に使えます。

この機能の利用は**管理ページ>コンフィグ>機能設定**から設定できます。

エントリーの作成

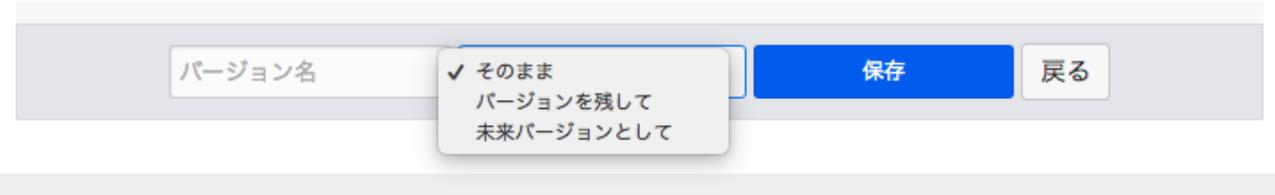
ID	バージョン名	作成者	作成日時	確認	承認ステータス	別バージョン
1	作業領域	appleple	2018/04/11 18:22:39	<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="承認"/>	<input type="button" value="別バージョン"/>

エントリーを新規に作成する場合には、まだバージョン管理を意識することはありません。また、バージョン管理が必要でないエントリーの場合にも特に必要な動作はありません。

エントリーの新規作成後、修正を行う際に初めてバージョン管理特有の表示が現れます。
なお、エントリーの新規作成を行った場合は、**作業領域**というバージョンで保存されます。

エントリーの保存方法によって変わるバージョン管理

作成したエントリーを修正した場合、ページ下部に、保存のための以下のフォームが表示されます。



そのまま

エントリーに修正を加える際、バージョン管理を行わないのであれば「そのまま」「保存」とすることで、バージョンを作成せずにエントリーを保存します（修正内容が反映されます）。

ただし、作業領域バージョンには上書きされます。

バージョンを残して

バージョン名の入力欄に任意でわかりやすい名前を入力し「バージョンを残して」「保存」とすることで、今回の修正を新たにバージョンとして作成します。
そして、今回の修正で作成されたバージョンが公開されます。

未来バージョンとして

バージョン名の入力欄に任意でわかりやすい名前を入力し「未来バージョンとして」「保存」とすることで、今回の修正を新たにバージョンとして作成します。
ただし「バージョンを残して」とは違い、**作成されたバージョンは公開されません**。公開する場合は後述するバージョン管理パネルから公開します。

バージョンの確認と管理

1つ以上のバージョンを持つエントリーを個別表示（****.html で表示）すると、エントリーの上部にバージョンに関する情報が表示されます。

ここには、バージョン管理画面を表示するための「バージョン管理」ボタン、現在のバージョンを表すID（数字）と、このエントリーに作られているバージョン数が表示されています。



バージョン管理パネルの役割

「バージョン管理」ボタンをクリックすると、画面内にバージョン管理パネルが表示されます。

ここで、該当エントリーのバージョンの状態の確認や、バージョンの確認、バージョンを切り替えての公開ができます。

ID	バージョン名	作成者	作成日時	確認	別バージョン
1	作業領域	admin	2020/08/31 19:48:08	<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="作成"/>

ID	バージョン名	作成者	作成日時	確認	別バージョン
3	写真2枚版 (下書き)	admin	2020/08/31 19:49:21	<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="削除"/>
2	写真2枚版	admin	2020/08/31 19:49:06	<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="削除"/>

バージョンの確認と公開

バージョン管理パネル内の各バージョンの「確認」ボタンをクリックすると、そのバージョンの内容を別ウィンドウ（タブ）で表示します。ここでバージョンの内容を確認するとともに、公開（切り替え）もできます。

バージョンの公開（切り替え）は、確認画面右上のボタンから行います。



バージョンの変更

バージョン管理パネル内の各バージョンの「変更」ボタンをクリックすると、そのバージョンの編集画面になります。ここで編集を行い「そのまま」保存すると、編集結果は作業領域バージョンに上書きされ「バージョンを残して」「未来バージョンとして」保存することで、新たなバージョンを作成できます。

バージョンの削除

バージョン管理パネル内の各バージョンの「削除」ボタンをクリックすると、そのバージョンは削除されます。

作業領域バージョンと現在公開中のバージョンは削除することはできません。 「削除」ボタン自体が表示されません。

公開バージョンの変更

バージョン一覧の右上の「選択したバージョンを公開」は、バージョン右のラジオボタンと組み合わせて使用します。

「選択したバージョンを公開」ボタンをクリックすると、このエントリーでラジオボタンで選択したバージョンが公開されます。



作業領域からバージョンを作成

バージョン管理パネル左上の入力欄にバージョン名となるテキストを入力し「作業領域からバージョンを作成」ボタンをクリックすると、**現在の作業領域バージョンを独立した別バージョンとして作成**します。

The screenshot shows a user interface for managing versions. At the top, it says 'バージョン一覧' (Version List). Below that is a search bar labeled 'バージョン名' (Version Name) and a green button labeled '作業領域からバージョンを作成' (Create Version from Current Workspace).

◆ SNSログイン機能

SNSログインとは

a-blog cmsでは、Facebook、Twitterのユーザー アカウントを使用してログインするSNSログイン機能があります。

a-blog cmsでは、Facebook、Twitterの各サービス、a-blog cms のブログ、a-blog cmsのユーザーに必要な設定を行うことでこの機能が利用できます。

Facebook 側の設定

Facebookアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定 にあるFacebookアプリケーション欄の

「Application ID」 と 「Application Secret」 の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、独自のFacebookアプリを作成することで入手できます。

注意：Facebookアプリの作成には、Facebook開発者登録が必要です。開発者登録がされていない場合には <https://developers.facebook.com> より事前にご登録ください。

アプリの作成手順

この手順は2014年11月現在のものです。Facebook側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

1. Facebook の Developersアカウントを作成します。
上部ナビゲーション「スタート」から、アカウントを作成します。「Facebook for Developersアカウントを作成しよう」の下にある「次へ」から、アプリの登録画面へ移行します。



2. アプリ情報を入力します。アプリ名、メールアドレスを登録し「Next」ボタンをクリックします。次に自分に当てはまる役割についてのアンケートに答えます。

3. 「Add Your First Product」から、アプリダッシュボードに移動します。

4. ダッシュボード左にあるサイドバーの「設定」→「ベーシック」にて **アプリID** と **app secret** を確認します。app Secret は非表示になっていますので、app Secret 欄右側の「表示」で表示して確認してください。

これで設定に必要な「App ID」と「App Secret」が取得できました。これらの情報のa-blog cmsへの設定は後述します。

Twitter 側の設定

Twitterアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定にあるTwitter (SNSログイン用) 欄の「API Key」と「API Secret」の2つの情報が必要になります。この2つの情報は、独自のTwitterアプリを作成することで入手できます。

アプリの作成手順

この手順は2018年4月現在のものです。Twitter側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

1. Twitter のアプリケーション登録ページ(<https://apps.twitter.com>)から、申請を行う必要があります。この時点でログインしているアカウントが表示や投稿に関連づけられます。
画面右側の「Create New App」から新しいアプリケーションの作成を行います。

2. Application Detail の各欄を入力します。

Name、Descriptionにはわかりやすい名前と概要を入力し、**Website**には対象となるa-blog cmsのブログURLを入力してください。
Callback URLには以下の内容を入力してください。

対象となるa-blog cmsのブログURL/callback/signin/twitter.html

画面下部の規約に同意して登録を完了してください。

 Application Management

Twitter Apps

You don't currently have any Twitter Apps.

Create New App

About Terms Privacy Cookies
© 2018 Twitter, Inc.

Create an application

Application Details

Name *

Your application name. This is used to attribute the source of a tweet and in user-facing authorization screens. 32 characters max.

Description *

Your application description, which will be shown in user-facing authorization screens. Between 10 and 200 characters max.

Website *

Your application's publicly accessible home page, where users can go to download, make use of, or find out more information about your application. This fully-qualified URL is used in the source attribution for tweets created by your application and will be shown in user-facing authorization screens.
(If you don't have a URL yet, just put a placeholder here and remember to change it later.)

Callback URL

Where should we return after successfully authenticating? OAuth 1.0a applications should explicitly specify their oauth_callback URL on the request token step, regardless of the value given here. To restrict your application from using callbacks, leave this field blank.

Developer Agreement

Yes, I have read and agree to the [Twitter Developer Agreement](#).

Create your Twitter application

3. アプリケーションの作成が完了すると、情報の確認や設定の変更ができます。以下の内容を変更してください。

Keys and Access Tokens

「Keys and Access Tokens」タブの「Access level」が、「Read and write」となっていることを確認してください。これが基本のアクセス形式となります。

a-blog cmsとの連携には、このタブで表示される「Consumer Key (API Key)」と「Consumer Secret (API Secret)」が必要になりますのでメモをしておいてください。

2018-04 a-blogcms sample

Details Settings **Keys and Access Tokens** Permissions

Application Settings
Keep the "Consumer Secret" a secret. This key should never be human-readable in your application.

Consumer Key (API Key)	[REDACTED]
Consumer Secret (API Secret)	[REDACTED]
Access Level	Read and write (modify app permissions)
Owner	[REDACTED]
Owner ID	[REDACTED]

2018-04 a-blogcms sample

Details Settings **Keys and Access Tokens** Permissions

Application Settings
Keep the "Consumer Secret" a secret. This key should never be human-readable in your application.

Consumer Key (API Key)	[REDACTED]
Consumer Secret (API Secret)	[REDACTED]
Access Level	Read and write (modify app permissions)
Owner	[REDACTED]
Owner ID	[REDACTED]

2018-04 a-blogcms sample

Details Settings **Keys and Access Tokens** Permissions

Application Settings
Keep the "Consumer Secret" a secret. This key should never be human-readable in your application.

Consumer Key (API Key)	[REDACTED]
Consumer Secret (API Secret)	[REDACTED]
Access Level	Read and write (modify app permissions)
Owner	[REDACTED]
Owner ID	[REDACTED]

Google側の設定

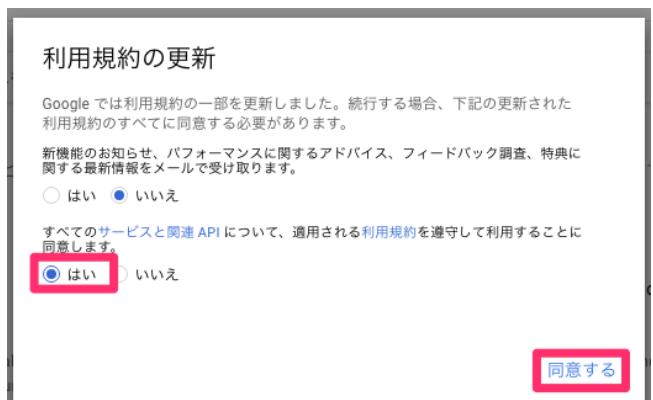
Googleアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定にあるGoogle（ログイン）欄の「Client ID」と「Secret Key」の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、GoogleのOAuth クライアント IDを作成することで入手できます。

OAuth クライアント IDの作成手順

1. Google API Console(<https://console.developers.google.com/>)から、申請を行う必要があります。この時点でログインしているアカウントに関連づけられます。はじめに利用規約に同意する必要があります。次に、画面上にある「プロジェクトを作成」から新しいプロジェクトを作成を行います。

次に、画面上にある「プロジェクトを作成」から新しいプロジェクトを作成を行います。



ダッシュボード API とサービスの削除

一般的な API とサービス

Google Drive API Google Drive API allows clients to access resources from Google Drive.

Gmail API Google Flexible, RESTful access to the user's inbox.

Google Maps Android API Google Maps for your native Android app.

すべて表示 (18件)

プロジェクトを作成

Google API Consoleの画面

API とサービス ダッシュボード

このページを表示するには、プロジェクトを選択してください。

作成

作成をクリックします

新しいプロジェクト

割り当てのプロジェクト数は残り 12 件です。詳細

プロジェクト名

a-blog cms project

プロジェクト ID は a-blog-cms-project-200902 です。編集

組織

appleple.com

管理アカウントでログインしています。ドメイン管理者は、このアカウントを使用して作成された任意のプロジェクトにアクセスしたり、変更または停止したりできます。ドメイン管理者にプロジェクトへのアクセスを許可しない場合は、ログアウトして、管理対象外の Google Account でプロジェクトを作成してください。詳しくは、Google のプライバシー ポリシーをご確認ください。

作成 キャンセル

プロジェクト名を決めて、プロジェクトを作成します

2. 認証情報から認証情報作成を行います。左の「API APIとサービス」から「認証情報」を選択します。
 「認証情報を作成」から「OAuth クライアント ID」を選択します。



API API とサービス

- ◆ ダッシュボード
- ライブラリ
- 🔑 認証情報

API
認証情報

APIへのアクセスには認証情報が必要です。使用する API を有効化し、必要な認証情報を作成してください。API に応じて、API キー、サービス アカウント、または OAuth 2.0 クライアント ID が必要です。詳しくは、API ドキュメントをご覧ください。

[認証情報を作成](#) ➔

API キー シンプル API キーを使用し、プロジェクトを構築し、既に既存のアクセスを確認します
OAuth クライアント ID ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします
サービス アカウント キー ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします
ウィザードで選択 使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

認証情報を作成します

「OAuth クライアント ID」を選択します

3. クライアント ID の作成を行います。クライアント ID の作成画面からはじめに同意画面を設定します。「同意画面を設定」から OAuth 同意画面から **ユーザーに表示するサービス名** にサービス名を入力し保存をしてください。



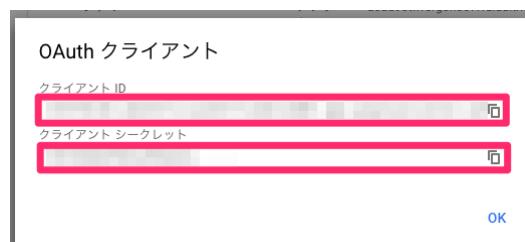
↑ 同意画面を設定します
 サービス名を入力し保存をしてください→

アプリケーションの種類は **ウェブ アプリケーション** を選択し、わかりやすい名前（例：googleOAuthApi）を入力します。承認済みの JavaScript 生成元に Google アカウントでログインを行うサイトの URL (`http://www.example.com`) を入力します。ワイルドカード (`http://*example.com`) やパス (`http://example.com/subdir`) を含めることはできませんのでご注意ください。承認済みのリダイレクト URI には以下の内容を入力してください。**対象となるa-blog cmsのブログURL/callback/signin/google.html**



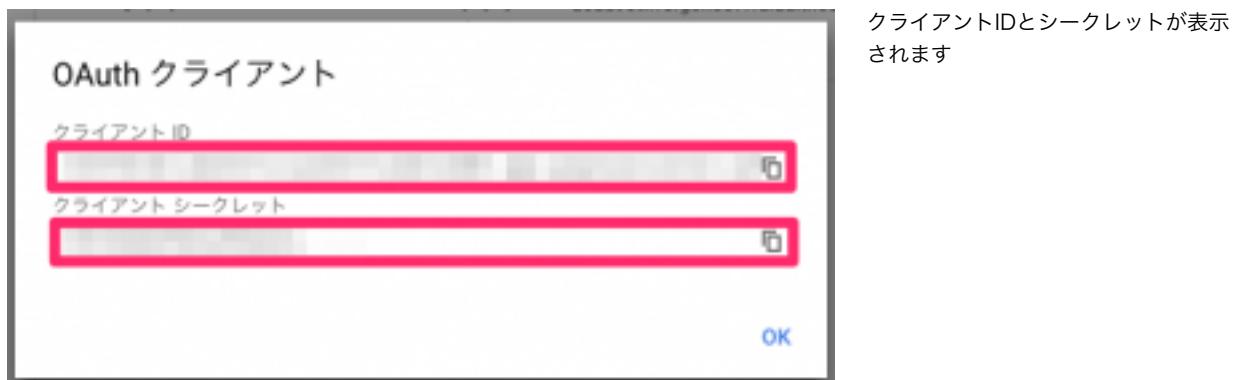
OAuth クライアント

クライアント ID
クライアント シークレット



クライアントIDとシークレットが表示されます

4. クライアント ID の作成が完了すると、OAuth クライアントの情報が表示されます。「OK」をクリックするとファイルをダウンロードしないと見れなくなりますので、メモしておいてください。



LINE側の設定

この記事では、LINEログインをa-blog cmsで行う方法をご紹介します。

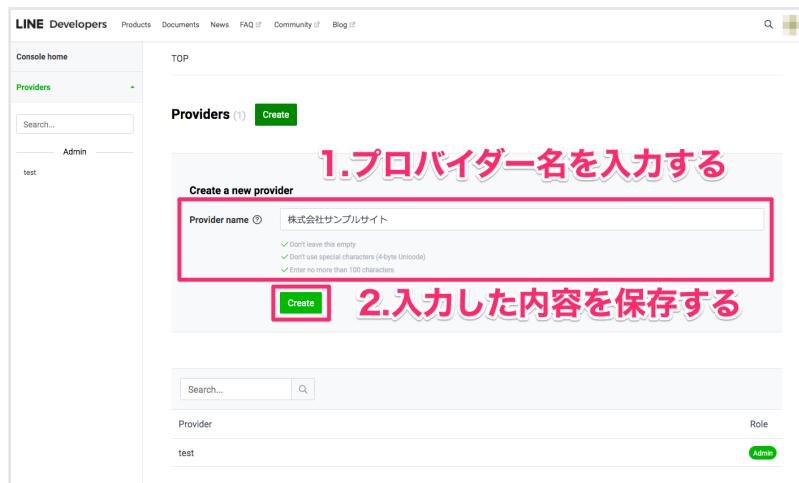
コンソール <https://developers.line.biz/console/> にアクセスして、a-blog cmsの管理画面に登録する「Channel ID」と「Channel secret」を取得します。

プロバイダを作成する

まずはプロバイダを作成します。「Create」ボタンをクリックします。

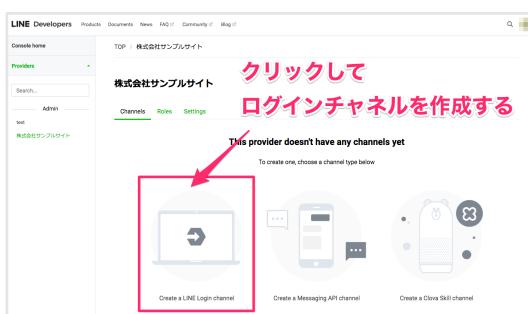
The screenshot shows the 'Providers' section of the LINE Developers console. On the left, there is a sidebar with 'Console home', 'Providers' (highlighted in green), and a search bar. The main area has a heading 'Providers (2)' with a 'Create' button highlighted by a red box and a large red arrow pointing to it. Below this, there is a table with one row: 'Provider' (test), 'Role' (Admin), and 'Admin' status. The entire interface is framed by a light gray border.

「Create」ボタンをクリックしたら、プロバイダー名を入力します。後から何の設定かわかるように、会社名やお店の名前やサイト名をご記入ください。

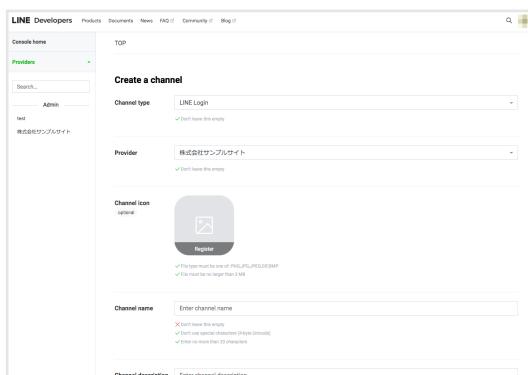


プロバイダーを作成したら、ログインチャネルを作成します。

ログインチャネルを作成する



以下のような画面に移動します。入力欄を記入しましょう。



Channel type	「LINE Login」を選択する（さきほど選択したチャネルタイプが選択されている状態になります）
Provider	プロバイダ名を選択する（さきほど作ったプロバイダが選択されている状態になります）
Channel icon	任意のアイコンを登録する
Channel name	チャネルの名前（※Channel name名に「LINE」という文字を含めるうまく作成できない可能性があります）
Channel description	チャネルの説明
App types	「Web app」を選択する
Email address	メールアドレスを登録
Privacy policy URL	プライバシーポリシーのURLがあれば登録する
Terms of use URL	利用規約のURLがあれば登録する

最後に、LINE Developers Agreement に同意し、チェックボックスをオンにしてチャネルを作成します。

Channel IDとChannel secret を登録する

内容を保存したら、作成したチャネルのページに自動で移動します。

このページに記述されている「Channel ID」と「Channel secret」の項目をa-blog cmsの管理画面に設定します。LINEログインを有効にしたいサイトにログインし、管理画面>コンフィグ>プロパティ設定の順にページを移動し、「LINE（SNSログイン用）」の欄に記述してください。

a-blog cms の管理画面

Callback URL : [REDACTED] /callback/signin/facebook.html

LINE (SNSログイン用) ?

Channel ID
[REDACTED]

Channel Secret
[REDACTED]

Callback URL : [REDACTED] /callback/signin/line.html

Channel IDとChannel secret をプロパティ設定に登録する

LINEのチャネルページにある LINE ID とLINE secret

The screenshot shows the LINE Developers console interface. In the top navigation bar, 'Providers' is selected. Below it, a provider named 'test' is listed. On the left sidebar, there's a search bar and a 'Basic settings' section. The main content area is titled 'CMSのSNSログイン' and shows tabs for 'Basic settings', 'LINE Login', 'Roles', and 'LIFF'. Under 'Basic settings', there's a 'Basic information' section with a 'Channel ID' field, which is highlighted with a red box.

Channel IDの設定

This screenshot shows the 'Basic settings' tab for a provider in the LINE Developers console. The 'Channel secret' field is highlighted with a red box. Other fields visible include 'Your user ID' and an 'Issue' button.

Channel secretの設定

Callback URLを登録する

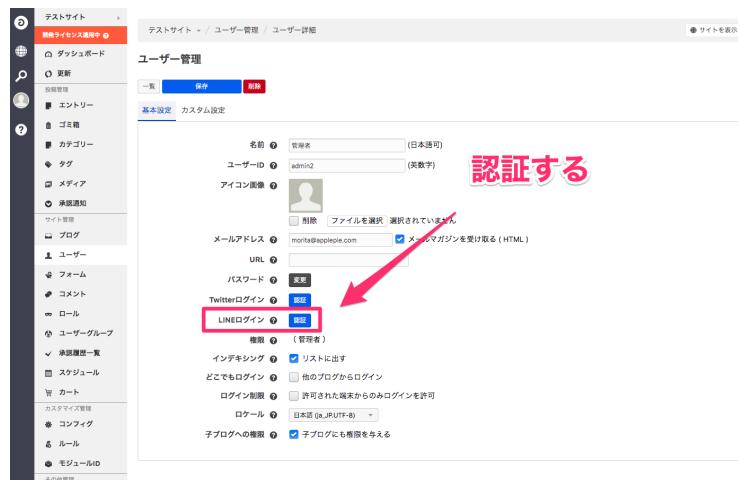
つぎは、a-blog cms の管理画面に記入されている
Callback URLを確認し、LINEのチャネルに登録します。ま
たLINEのコンソールの画面に戻って「LINE Login」タブに
移動します。

This screenshot shows the 'LINE (SNSログイン用)' settings in the LINE Developers console. It includes fields for 'Channel ID' and 'Channel Secret', and a 'Callback URL' field, which is highlighted with a red box.

This screenshot shows the 'LINE Login' settings in the LINE Developers console. It includes tabs for 'Basic settings', 'LINE Login', 'Roles', and 'LIFF'. The 'LINE Login' tab is selected. There's a 'General settings' section with a 'Linked OA' field and an 'Edit' button. Below it, there's a 'Web app' section with a 'Callback URL' field, which has an 'Edit' button next to it. A large pink annotation in the center says '[Edit]ボタンをクリックしてコールバックURLを入力する' (Click the [Edit] button to input the callback URL) with an arrow pointing to the 'Edit' button in the 'Callback URL' field.

LINEログインを使用したいユーザーを認証する

管理画面>ユーザー>LINEログインをしたいユーザーの設定画面の順にページを移動し、LINEログインの項目にある「認証」ボタンをクリックします。



実際にLINEログインを使用する

サイトからログアウトし、ログインページに移動すると、専用のボタンが表示され、LINEログインが有効になっているのが確認できます。LINEログインボタンをクリックしてログインしてください。



a-blog cms 側の設定

SNSログインのためのa-blog cms側での設定は大きく3つあります。

1. 各サービスのアプリ情報を登録

Facebook、Twitter のアプリ情報は管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定 から設定できます。

プロパティ設定画面の「ウェブサービス」からTwitter (SNSログイン用)、Facebookアプリケーションの各情報を登録します。

今回TwitterについてはSNSログインのために設定を行いますので、Twitter (SNSログイン用) に登録します。なお、Twitterアプリケーションの欄はSNSログイン以外の用途で使いたい時のものとなります。

2. SNSログインのための設定

ブログ全体でのSNSログイン機能と対象についての設定は管理ページ>コンフィグ>機能設定 から行います。

ログイン

SNSログイン機能のチェックで該当ブログでの機能を有効化します。

SNSログイン使用権限では、SNSログイン機能が使えるユーザー権限を設定します。

3. ユーザーごとの設定

「2. SNSログインのための設定」でブログでのSNSログイン機能を有効にすることで、**該当ブログに所属する各ユーザーの管理画面**にSNSログインのための項目が表示されるようになります。



Twitterログイン、Facebookログインの各ボタンは、各SNSにログインした状態で認証（または認証解除）することで、ログイン情報とこのユーザーが関連づけされます。

ログイン状態がユーザーに関連づけされますので、この設定は管理者が一括ではなく、各ユーザーが個別に行うものとなります。

認証されている場合は「認証」ボタンが「認証解除」に変わって表示されます。

各サービスの認証ボタンを押した時、サービスにログインしていない場合は、各サービスの認証画面が表示されます。ここでログインすることで、このユーザーでのa-blog cmsのSNSログインが有効になります。

2018-04 a-blogcms sampleにアカウントの利用を許可しますか？

[連携アプリを認証](#) [キャンセル](#)

このアプリケーションは次のことができます。

- ・ タイムラインのツイートを見る。
- ・ フォローしている人を見る

次のことはできません。

- ・ 新しくフォローする
- ・ プロフィールを更新する。
- ・ ツイートする。
- ・ ダイレクトメッセージを見る。
- ・ 登録済みのメールアドレスを取得する。
- ・ Twitterのパスワードを見る。

ログインするには

SNSログイン機能を有効にした状態で、a-blog cmsのログイン画面を表示すると、通常のユーザーID、パスワードの入力欄の下に、Facebook、Twitterの各ログインボタンが表示されます。

ここまで設定が行われていれば、ユーザーID、パスワードを入力しなくても、各ログインボタンからログインできるようになります。



♣ カート機能

カート機能

a-blog cms には簡易的なカート機能が用意されています。商品の購入（カートに投入）して送料の計算などを行う基本的なカートとしての使い方や、購入を伴わず選択した複数の商品（データ）情報を管理者に送信する、といった使い方ができます。

主な機能

a-blog cms のカート機能は、以下の通りです。
この機能の利用は[管理ページ>カート](#) から設定できます。

- 商品情報の登録・表示
- 在庫管理機能の有効化
- 税金設定（税率、内税・外税）
- 決済と配送の設定（方法と手数料）
- 配送オプション（配送希望日時とオプション）
- 送料の設定

各項目には[?]マークでヘルプを設けていますので、内容は
こちらを参照ください。

ご利用の前に

カート機能の利用には**テーマのカスタマイズとフォームIDの作成が必須**となります。
これらの作成につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

サイト管理

□ ブログ

👤 ユーザー

➥ フォーム

💬 コメント

📷 メディア

✓ 承認履歴一覧

CALENDAR スケジュール

🛒 カート

Ver. 1.x との違い

Ver. 1.x の有料オプションとして提供されておりましたユーザー管理、販売管理の機能は用意されておりません。

♣ レイアウト機能

レイアウト機能とは

a-blog cms では、表示されているページのコンテンツやレイアウトをブラウザ上から追加・変更できるレイアウト機能があります。

レイアウト機能を使うことで、これまでテンプレート（HTMLファイル）への変更が必要だったレイアウトの変更やモジュールの追加が、ブラウザからの操作のみで行えるようになります。

この機能は、a-blog cms に同梱されているテーマ「Site2020」で利用できます。Site2020での利用を元に説明を進めますが、独自に作成したテーマをご利用の場合には別途テンプレートファイルに変更が必要です。レイアウト機能の使用については、**a-blog cmsのテンプレートを作成された方にご相談ください。**

レイアウトの利用開始

Site2020テーマのa-blog cmsに管理者としてログイン後、トップページに表示される「レイアウト」ボタンでレイアウト機能の利用を開始します。

レイアウト機能が起動すると、ページ内の各コンテンツがレイアウト（灰色の囲み）とモジュール（青色の囲み）で区切られた表示に切り替わり、画面左上にレイアウト機能の操作パネルが表示されます。

モジュール > 交通アクセス

a-blog cms サンプルサイト

ホーム 会社概要 製品情報 物件情報 お知らせ 採用情報 お問い合わせ

admin プロフィール デバッグモード 現在表示中のテンプレート : /themes/site2020/layout.html 現在のルール : 家庭用製品に訪問したとき (RID:14) / ライセンス未購入

エントリー作成 管理ページ タイムマシンモード プレビュー ログアウト

レイアウト

新着情報

2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました

2019年03月26日(火) お知らせ ユニットによる要素の掲載例

2019年03月26日(火) お知らせ 段組のテスト

検索

ピックアップリスト

noimage
家庭用製品F

※ 製品情報

テスト 家庭用製品A

レイアウト機能起動前

モジュール をドラッグ

1カラム
2カラム
3カラム
バーツ

モジュール をドラッグ

モジュール

新着情報

2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました

2019年03月26日(火) お知らせ ユニットによる要素の掲載例

検索

レイアウト機能起動後

レイアウト機能を起動した状態。

画面内の各コンテンツがレイアウト枠とモジュール枠で区切られているのがわかります。

レイアウト、モジュールの追加・配置・変更

レイアウト機能では、ページ内でのカラム数などを制御する「レイアウト」と、登録されている情報（エントリなど）をどのように表示するかを制御する「モジュール」のそれぞれを自由に追加・配置・変更できます。
レイアウト機能によるレイアウト、モジュールの追加手順は以下の3ステップとなります。

1. レイアウトの配置
2. モジュールの配置と設定
3. 保存

1. レイアウトの配置

レイアウト枠の項目はカスタマイズの内容により変わりますが、Site2020では、1カラム、2カラム、3カラム、パーツの4カテゴリから配置したいレイアウト枠を選択してドラッグ＆ドロップでページ上に配置します。



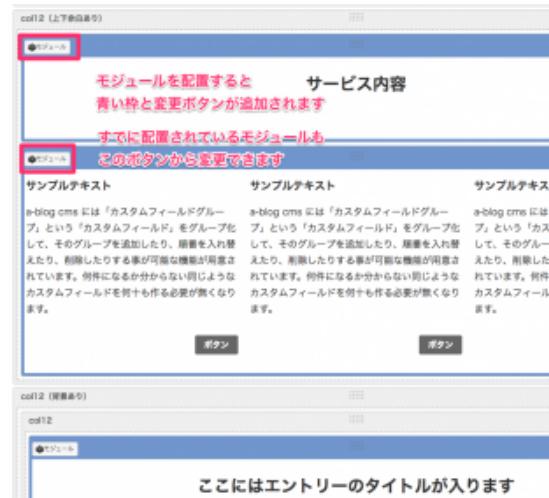
2.モジュールの配置と設定

モジュールについても同様に、ページ内に配置したレイアウト枠にモジュールをドラッグ＆ドロップでレイアウト枠内に配置します。

配置後にどのモジュールを表示するかをモジュール変更ボタンから選択します。

モジュール変更ボタンからは、これまでに設定されているモジュールIDを選択できます。表示したい内容のモジュールIDを左端の「選択」ボタンで選択します。

このモジュール一覧で選択したモジュールIDが、枠内に表示されます。これらのモジュールIDについては、レイアウト機能とは別に管理画面からも設定・編集もできます。



モジュール名	説明
top_banner	トップページのメインバナー
top_image	トップページのメイン画像
top_text	トップページのメインテキスト
layout_entry_body	レイアウトモジュール：エントリーボディ件数表示
top_headline	ランディングページヘッダー表示：お見せ
top_headline	トップページお見せ用
layout_product_list	レイアウトモジュール：製品情報の一覧
summary_related	関連エントリー表示用
street_service	レイアウトモジュール：サービス内容
section_heading_group	レイアウトモジュール：カスタムフィールドグループ表示
section_heading_new	レイアウトモジュール：お知らせ用表示

3.保存

レイアウトやモジュールは、ドラッグ＆ドロップによる追加後も、再度ドラッグ＆ドロップすることで自由に再配置できます。

1.と2.の作業を必要に合わせて繰り返し、最終的にレイアウト機能の操作パネルの「保存」ボタンで追加・変更した内容を確定します。

実際に保存する前には、レイアウト機能の操作パネルの「プレビュー」ボタンからPC、スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できます。

誤ってレイアウトやモジュールを削除してしまった、最初からやり直したい、という場合にはレイアウト機能の操作パネルの右上「X」ボタンでこれまでの変更内容を破棄できます。



a-blog cms サンプルサイト

ホーム 会社概要 製品情報 物件情報 お知らせ 採用情報 お問い合わせ

新着情報

- 2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました
- 2019年03月26日(火) お知らせ ユニットによる要素の掲載例
- 2019年03月25日(月) お知らせ 段組のテスト

検索

ピックアップリスト

家庭用製品F

新着情報

- 2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました

プレビューでは、PC・スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できる